

# めぐみ厚生センター恵友会 会報

第 300号

めぐみ厚生センター恵友会

法人本部 0952-25-2797

めぐみ園 0952-34-7722

富士学園 0952-63-0107

ウイズ富士 0952-51-0063

発行人 副島 勉

郵便振替 めぐみ厚生センター恵友会

口座番号： 01770-6-12389

事務局

〒840-2223 佐賀市東与賀町大字飯盛1584 (めぐみ園内) : tel 0952-34-7722



## がんと向き合う

恵友会 副会長  
福島 龍一



Card Reader

がんは、いまや国民病とも言われるほど身近な病気になってきました。国民の二分の一が罹患するとも言われています。しかも佐賀県では3人に一人ががんで亡くなっています。これは全国平均を大きく上回っています。特に肝臓ガンは平成11年から連続して全国ワースト1を続けています。

しかし一方では、早期発見・早期治療によって、がんは治る病気とも言われています。医療技術の進歩や、抗がん剤の開発など、治療分野においても目覚ましいものがあります。

いま私たちに必要なことは、がんとはどのような病気であり、どうすればがんに立ち向かうことができるのか、そういった正しい知識を身につけることです。今年からは小学生を対象とした「がん教育」にも着手されるようになってきました。

そういった「がん」をテーマとした市民活動の一つに、リレー・フォー・ライフという活動があります。リレー・フォー・ライフ (いのちのリレー) は、30年前にアメリカで始まった24時間チャリティーイベントです。一人の医師が「がんは24時間眠らない。がん患者は24時間がんと闘っている」という熱い気持ちで、24時間を歩き通して、がん治療に役立てたいと募金を募ったことに始まっています。

日本でこの活動が始まって、今年で10年目を迎えます。いまでは国内のほとんどの県で開催されており、佐賀県でも昨年第一回目を開催することができました。

このイベントのテーマは、「祝う」＝がんの告知を乗り越え、がんと共に生きてきた患者や家族を讃え祝福します。「しのぶ」＝がんで亡くなった愛する人を偲び、追悼します。また、病の痛みや悲しみと向き合っている人たちを敬います。「立ち向かう」＝がんの予防や検診を啓発し、征圧のための寄付を募り、がんに負けない社会を作ります。募金や寄付金は、イベントの運営費として使用するほか、日本対がん協会を通して、がん医療の研究費の一部として活用されます。

イベントの中では、がん征圧を目指して、がん患者や家族、支援者らが夜通し交代で歩き勇気と希望を分かち合います。また、ルミナリエという灯籠状の袋に、人それぞれの思いを書いていただき、一晩中ろうそくの光でメッセージが照らし出されます。がん患者や家族の交流や、がん医療の現状に関する講座やサロンも開催されています。ステージでは、佐賀のミュージシャンによる応援ソングなども歌われます。また遺族の方が集う、グリーフ・ケアも行われます。

佐賀県では今年で2回目となる大会です。開催期日は9月24日(土) 昼12時から25日(日) 昼12時までの24時間。場所は、佐賀市にある「どんどんの森公園」です。今年のテーマは「集う」です。がん患者やその家族・支援者の方々の一人でも多くの方がこの会場に集って、お互いが持っている悩みや苦しみを共有することができる「場」を作ることが出来ればと願っています。

この、リレー・フォー・ライフにはどなたでも一人でも参加できます。参加することで、がんに立ち向かうことの大切さを感じていただければと思います。



◎新入会ありがとうございます

いびいしました。

平成二八年四月二十日現在  
敬称略

村上澄子、江川秀子

◎会費納入ありがとうございます

いびいしました。

平成二八年四月二十日現在  
敬称略

- 吉田太作・志存、諫山真司、野中憲子
- 多良勝利、山口勝正、江崎悠紀子、横尾蒲鉾
- 中溝豆腐、中原正治、小林環樹、堤敦子
- めぐみ園家族会八一名様分、江頭嘉子
- 中島直樹、田中國代、山口貞雄、田中折雄
- 九州食品(株)、栗林久美子・裕章、松本次雄
- 石動丸販売店、大屋庫三、山領昭子
- 市丸俊文、内川商事、梅本隆司・富美子
- 井口丈男、池田治夫、横田須美子、岩田寛剛
- 北島政商店、大崎茶補、中江二郎(株)、永池
- 今村宏、矢川信子、納富勇次、長峰陽子
- 島田折枝、武久好光、梅野勝子、久我登茂江
- 小淵八千子、光岡悦子、釘尾末子、山崎幸子
- 瀬戸口昭子、金武妙子、徳永尚子、江川秀子
- 川内丸邦子、鶴池咲智子、吉田幸子
- 堤キクエ、山口洋子、村山澄子、嶋田キヨ子
- 栗林康之・三枝子、雪印メグミルク八谷
- 原口弘・久美・恭典・弘朗、楠満
- 畑瀬智幸、大金通浩、丸秀醬油、中村瑞穂
- 柴田英則・二三恵、社会福祉法人聖導会
- 武下正文、古川美枝子、池田譲一、柿木啓子
- 石丸九州男・幸子

◎お寄付ありがとうございます

いびいしました。

平成二八年四月二十日現在  
敬称略

- 栗林久美子、岩田寛剛、武下正文、吉田大作
- 堤敦子、松本次雄、石動丸販売店、井口丈男
- 久我登茂江

平成28年度 厚生センター概要

新年度がスタートし心機一転の中、各事業所の特色を活かした事業計画が予定されております

恵友会視察研修のお知らせ

期日・・・2016年6月8日(水)  
 場所・・・社会福祉法人 しいのみ学園  
 児童発達支援センター  
 しいのみ学園  
 時間・・・10時30分から

～しいのみ学園のご紹介～

＝日本で初めての養護学校として  
 昭和29年に設立された由緒ある施設＝  
 しいのみ学園創立者：昇地三郎先生と  
 めぐみ厚生センター創立者：栗林夫妻の交流  
 は古く、めぐみ園で食事のお知らせ用として  
 使っていた鐘は、しいのみ学園からのプレゼントでした。

小さきは 小さきままに  
 折れたるは 折れたるままに  
 コスモスの花咲く

昇地三郎先生の詩はあまりにも有名・・・  
 直筆の額が富士学園に残されています。

※参加希望の方は事務局までご連絡下さい(5月30日まで)



熊本・大分地方の地震により、被災された方々、関係者の皆様方に、心からお見舞い申し上げます。

佐賀県でも県や社会福祉協議会が軸となり、各種派遣や救済物資の運搬を行っています。

厚生センターでも、県内施設からの救済物資を届けました。

《がんばろう熊本!》

障害を持つ方々の支援についても、支援員派遣も視野に入れ九州が一丸となり、未曾有の事態を乗り切る覚悟です。

出来ることから始めましょう!

(編集局)